

平成22年度「みんなの審査会(新さかい)」対象事業の市の方向性
(平成23年2月時点)

事業番号	①-3	事業名	地域のつながりハート事業（(社福)堺市社会福祉協議会への補助事業）			
所管	健康福祉	局	健康福祉政策	部	地域福祉推進	課
1. みんなの審査会でいただいた主な意見等						
<p>(検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金事業の域を出て積極的ダイナミックな参加型の地域福祉の推進を願う。 ・成果指標が訪問回数だけでは事業の成果がわからない。 ・事業の評価を定量的な数値で明確にしていく必要がある。 <p>その上で、現在の事業の中で実施できていないことを検証する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市は、資金的な援助でとどまることなく、市の担う役割・責任を明確にする必要がある。 ・また、社会福祉協議会の役割についても明確にすべき。 ・対象が高齢者に偏っている。障害者や子育て中の親への支援などニーズに合わせて事業を実施すべき。 ・専門的な能力を有するNPOとの連携や活用の方策を考えていくべき。 ・高齢者等に訪問活動を実施するだけではなく、もっと訪問の緊急性・必要性が高い人たち（生活困窮者等）を訪問すべき。 <p>(市民審査員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題をかかえている人（虐待等）の発見対応には、市の連携が必要だと思う。医療機関との連携も重要では。 ・社協を通じて事業を行っている理由も理解するが、区役所（地元）を中心に活動を実施すべき。そうすれば多様な事業との連携が可能。 ・教育、介護、障害、子育てなどを統合して強化すべき。 ・本事業の中で小地域ネットワーク活動に対する予算割合が大きいのので、それに対する成果指標（実績）を明らかにすることが必要。 ・補助金を出すにあたっては、重点事業を決めるべき。 ・事業を民間に任せる（市民の自己負担）ことのできるものはないか？ ・他の事業と重複しているものを解消すべき。 ・事業を改善することで、予算の削減を行い、戸別訪問を充実させる事業（NPO・ボランティア）にまわす。 						
評価結果	①市で実施 (現行どおり)	②市で実施 (強化・拡充)	③市で実施 (要改善)	④実施主体の 見直し	⑤事業は不要 (廃止)	
市民審査員	1人	3人	12人	1人	0人	
検討委員(参考)	0人	2人	3人	0人	0人	
2. 市の方向性	改善(平成23年度中に見直しの検討を行い、平成24年度以降に見直しを実施)					
3. 1の意見等を踏まえた市としての取組方針、見直し内容						
<p>地域のつながりハート事業に対する住民の認知を高め、利用者の増大を図る。そのうえで、社会福祉協議会（以下「社協」という。）との協力により、本事業に係る定量的評価の手法について検討するとともに、その評価をもとに現在の事業で何が課題となっているか明らかにする。</p> <p>また、地域福祉を進めるうえでの市、社協、地域、NPO・在宅介護支援センター等専門機関それぞれの役割分担について再確認するとともに事業本来の目的・趣旨を踏まえ、事業手法等の見直しにつなげていく。</p>						
4. 平成23年度予算への反映状況						
	平成22年度当初予算	平成23年度査定額	増減額			
事業費	88,211千円	80,111千円	▲8,100千円			
5. 今後の取組予定						
平成22年度下半期	定量的評価の手法についての検討を行う。また、23年度実施の事業について具体的な実施方法についての検討・協議を行う。					
平成23年度	小地域ネットワーク活動のグループ援助と校区ボランティアビューローとの連携を強化する。 地域のつながりハート事業に対する住民への周知活動の充実を図る。					
平成24年度以降	住民への周知活動を更に充実させるとともに、前年度に実施した定量的評価等を踏まえ、制度の充実・見直しを図っていく。					